

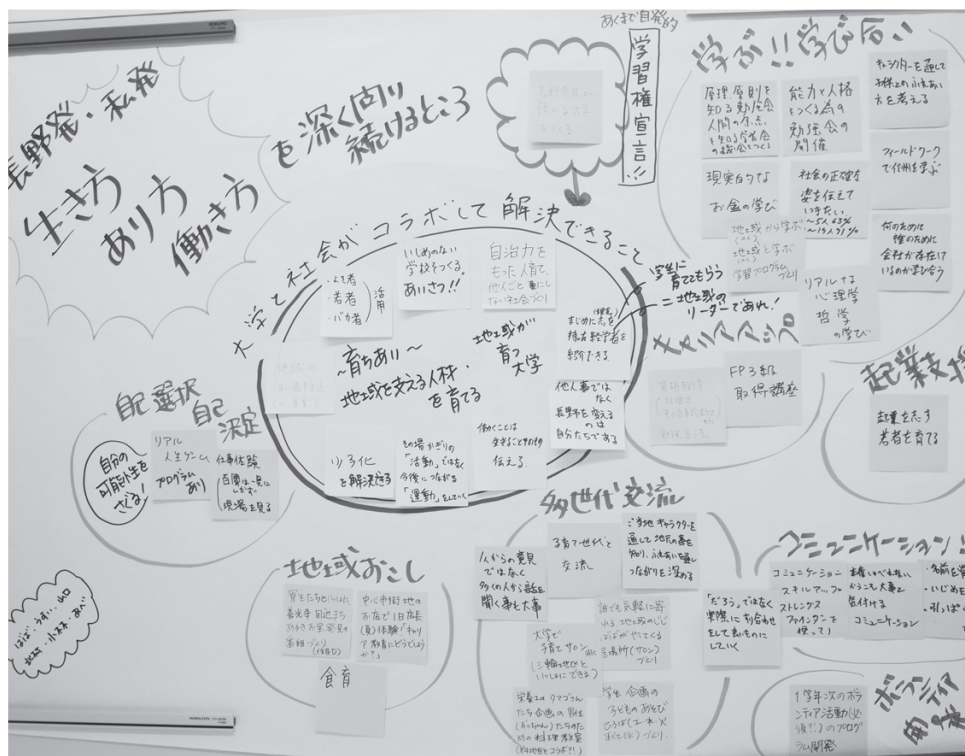
市民協働サポートセンター

TEL.026-223-0051 FAX.026-223-0052

〒380-0835 長野市新田町 1485-1 もんぜんぶら座 3F

npo@nagano-shimin.net <http://www.nagano-shimin.net/>

・ ・ ・ ・ NPO ・ 市民協働情報誌



「POPUP知恵出し会議」がスタート！

当センターまんまるの新作、毎回地域のホットな話題を取り上げ、知恵を出し合い社会を変えていく「POP UP 知恵出し会議」が11月からスタートしました。

2013年5月より3年半

にわたり、月1回行ってきたソーシャル・コミュニケーションサークル（SCC）は9月で最終回を迎えました。NPOだけではなく、フリーランス、企業家、専門家、店主、学生、行政職員など200名以上の参加者が出会い、SNS上でネットワークを作っています。POPUP知恵出し会議はその人脈を生かして、情報提供者を迎えて地域のニーズや課題に関して学び、ワークショップ形式で参加者が知恵を出し合おうというものです。

第1回は「30年4月に長野県立大学ができるっ!」と題して、長野県立大学設立準備室担当職員の金子功さんと馬場武親さんが、新設される学科や定員、交流センターについて、そして後町小学校跡

地の学生寮や地域連携センターについて説明しました。後半は参加した26人が4グループに分かれて、「大学とコラボして解決できること」とその方法について知恵を出し合いました。

グループごとの発表では、「育ち合うことが大事で、学生と一緒に活動することで地域が育つことを期待する」「学生に地域を好きになつて欲しい。そのためには地域の企業やNPOが講師になったり、インターシップを受け入れることで、互いの関係づくりを」「哲学を共に学び合い、地域に貢献を」などの意見が出ました。講師からは「今回のワークシoppをきつかけに、ぜひ大学や生徒とコラボをお願いしたい」と要望も出ました。

「POPUP知恵出し会議」は年6回程度開催予定です。1月12日には(株)エムウェーブ社長、土屋龍一郎さんを招いて「長野五輪から20年?！冬のスポーツを考える」を予定しています。(文：寺澤)

「ながのまちづくり座談会シリーズ」報告 …賑わいの立役者4人が企画



NPOカフェまんまるは、今年度4回シリーズとして「ながのまちづくり座談会」を企画開催しています。まず4月、「門前をもつづくりでさらなる賑わいの場！」をテーマに、2013年から始まった『善光寺びんずる市』実行委員長の箱山正一さんを囲んで座談会を開催しました。善光寺びんずる市のコンセプトは「手づくり」。農家は自分で作った野菜や果物を出品。プロのクラフト品やママの手作り品。これから店を出すパティシエ等々。「出展者が将来、固定のお店をもつてくれること」を強く願っている箱山さん。自身も善光寺周辺に暮らす老舗ふとん店の4代目です。

続いて7月は、『NPO法人門前創造会議』理事長を務める寺久保尚哉さんを囲んで、「郊外型まちづくりから門前町型コンパクトシティ」として、善光寺門前界隈、中心市街地に人が集まる秘策について皆で語り合いました。賑わいある町にするには、ずばり「観光客」が立ち寄る町となること。善光寺界隈には、その観光客が立ち寄れるもの、祭り等あるが、その発信が十分なされていないことが人が集まらない要因のひとつではないかと検証。

3回目の10月は、『ながの街なか市場』実行委員長の齋藤幸代さんが企画。「人をつなぐ・街をつなぐ〜みんなが夢を語れるまちづくり〜」と題した座談会。ながの街なか市場は「長野の魅力を伝える」がコンセプト。まず、この市を開催するまでの軌跡から。

伝わる写真撮れていますか？

NPOステップアップ講座 〈広報のいろは〉

市民活動をするには、上手な広報が不可欠です。あなたの団体は「伝わる広報」できていますか？

昨年9月22日、第3回「広報のいろは」として「写真撮影の基礎知識」を開催しました。大入り満員となったこの

齋藤さんのリーダーシップとそれを応援する人々が集まり、ながの街なか市場の開催へとつながります。齋藤さんの「カフェまんまるでお話し

ます」の一声に、実行委員会の仲間が資料づくりに協力。そんな仲間づくりが日頃の活動に生きています。

さて、4回目最終回は、『NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会』事務局長の三田今朝光さんと共に、「歴史文化を活かしたまちづくりin松代」と題した座談会となります。松代地区をまるごと博物館にするという構想のもと、まちづくりはどのような行われているのか、学び語り合いました。（文：増田）

講座では、まず「NPOにはなぜ広報が必要なのか」「よい写真とはなんなのか」という基本を確認しました。そこから見映えのする構図をはじめ、モノを撮るときやイベントを撮影するときなどのシチュエーション別にコツを学びました。スライドの作例を見ながら解説。

また、途中3回ほど実際に受講者もカメラを持って撮影の体験をしました。机に置いたチラシやマグカップなどを被写体にしてみたり、3人1組になって2人が話しているところをもう1人が撮影する「人物撮影」の練習をしました。

真剣な表情で講義を聴いていた受講者も、撮影体験の時には互いに会話や交流も生まれ、写真を撮ること以上の収穫があったようです。

受講者からは「カメラは買った時のままオートでしか撮ったことがなかったけれど、知らない機能を知ることができてよかった」「構図を



実際にカメラを持つ場面も

少し変えるだけでも写真の見映えが違ってくるのが分かった」「教わったことをすぐ試してみたい」などの感想が聞かれました。

次回、3月4日（土）には、再び「写真撮影の基礎知識」を開講します。ブログ・SNSやチラシに使う写真のコツや、構図・明るさの話などを学びます。スマホやデジタルカメラで気軽にトライできる撮影のツボが満載です。前回受講できなかった方、市民活動をしていて広報をもっと上手にしたいと思っている方、ぜひお申し込みください。一緒にステップアップしていきましょう。お待ちしております！

（講師・文：立岡）

地域を元気にする活動を応援します！ —平成 29 年度ながのまちづくり活動補助金—

市では、次のテーマに該当し、市民の皆さんが自主的に取り組むまちづくり活動を、資金面で支援しています。

「地域や社会のためになる活動をしたいけど資金がない」、「活動を充実したい」、「軌道に乗るまでの資金が不足している」などとお考えの皆さん、「ながのまちづくり活動補助金」をご活用ください。

■テーマ

- ①暮らし続ける環境づくりに向けた魅力ある地域づくり
- ②交流人口増加に向けた賑わいあるまちづくり
- ③定住人口の増加に向けた活力のあるまちづくり

■対象要件

- ▼団体／構成員が 5 人以上（市内在住・在勤・在学の人を含む）の市内で活動する団体
- ▼活動／平成 30 年 3 月 31 日までに完了する活動で、他の補助金などを受けていないもの

■対象経費

活動の実施に要する経費（例：印刷代、広告宣伝費、消耗品費、講師への謝礼金など。）

※団体の事務所維持費など管理的な経費は対象になりません。

■補助金の種類・金額

【企画・研究部門】（1 事業につき 1 回まで）

市民自らが行うまちづくり活動のための調査や勉強会の開催など、企画・研究・計画策定を主な目的とする活動

▼補助率 10 分の 10（限度額 10 万円）

【実践活動部門】（1 事業につき最大 3 回まで）

まちづくりに熱意やアイデアを持つ市民が自主的に企画し、実施する活動

▼ホップコース（1 回目）：

補助率 10 分の 8（限度額 100 万円）



▼ステップコース（2 回目）：

補助率 10 分の 6（限度額 60 万円）

▼ジャンプコース（3 回目）：

補助率 10 分の 4（限度額 40 万円）

※ホップコースには、設立 2 年未満などの条件に該当する団体のみが申し込みできる「スタート枠」を設けています（限度額 50 万円）。

■募集要領・応募用紙の配布場所

市役所地域活動支援課、各支所、各市立公民館、市民協働サポートセンター（もんぜんぶら座 3 階）および市ボランティアセンター（ふれあい福祉センター 1 階）

※市ホームページからダウンロードもできます。



■申し込み

応募用紙に必要事項をご記入の上、1 月 16 日（月）～2 月 15 日（水）（土・日曜日、祝日を除く）に、直接、地域活動支援課へ

■募集説明会

とき	ところ
1 月 12 日（水）18:30～21:00	もんぜんぶら座 会議室 304
1 月 15 日（土）14:00～16:30	もんぜんぶら座 会議室 304

※内容はすべて同じです。また、本事業への応募に関する無料講座も併せて開催します。

■公開審査会

補助金の交付団体は、書類審査のほか、4 月に開催する公開審査会での発表（プレゼンテーション）を審査して決定します。

◎詳しくは、市ホームページ（12 月下旬公開予定）をご覧ください。か、下記までお問い合わせください。

<問い合わせ先>

【地域活動支援課】 電話 224-5033、FAX 224-8596
Eメール：chiiki@city.nagano.lg.jp

2017 年 1 月～3 月 市民協働サポートセンター まんまる スケジュール

タイトル	日時	会場・費用	内容
NPO 初歩講座 「きほんのき」	1 月 25 日（水）13:30～16:00 2 月 22 日（水）13:30～16:00 3 月 22 日（水）18:30～21:00	市民協働サポートセンター 300 円	「NPO ってなあに？」この講座ではそんな疑問にお答えしていきます。法人を設立したいという人もまずはこの講座から始めましょう。毎回ゲストに、市内 NPO 法人を招いて生の声をお聞かせします。
NPO ステップアップ講座 広報のいろは「写真撮影の基礎知識」	3 月 4 日（土）13:30～16:00	もんぜんぶら座 304 会議室 300 円	ブログ・SNS やチラシに使う写真のコツや、構図・明るさの話などを学びます。スマホやデジカメで気軽にトライできる撮影のツボが満載。講師／立岡淳志（まんまるコーディネーター・写真家）
ポップアップ知恵出し会議「長野五輪から 20 年?! 冬のスポーツを考える」	1 月 12 日（水）18:00～20:30	もんぜんぶら座 302 会議室 無料	地域のホットな話題を取り上げ、知恵を出し合い社会を変えるための「POP UP 知恵出し会議」第 2 回目は㈱エムウェーブ社長、土屋龍一郎さんを招いて、長野オリンピックミュージアム世界登録の秘話と、2018 年、長野五輪 20 周年のイベントに向け、一緒に冬のスポーツ振興について考えます。
大人の遠足「いざ、エムウェーブへ！～世界登録した五輪博物館を見よう！スピードスケートを観戦しよう！～」	2 月 5 日（日）受付 10:00 10:15～12:40	エムウェーブ 集合：北側入口 無料	1998 年長野五輪のスピードスケート会場だったエムウェーブで、世界登録された「長野オリンピックミュージアム」を見学。更に「第 37 回全国中学校スケート大会」を観戦し、ウィンタースポーツ振興について市民としてできることを考えます。
新！元祖 NPO カフェ まんまる	ながのまちづくり座談会④ 「歴史文化を活かしたまちづくり in 松代～信州松代まるごと博物館構想～」	1 月 19 日（水）18:30～20:30	市民協働サポートセンター 無料
	「フレ・ヒューマンライブラリー（人間図書館）」	2 月 26 日（日）13:30～16:00	もんぜんぶら座 地下ホール 無料

—地域の課題を解決！子どもたちのための活動紹介—



11月13日 花壇に花を植える参加者

「運動公園東団地遊園地「いこいの会」は石渡地区にある8常会の会」は平成27年6月に設立したボランティアグループです。

公園の花壇づくりを通して、世代を超えた地域の人達の交流の場をつ

くすることを目的に活動を開始しました。昨年3月から、月1回のペースで花壇の整備作業を行いました。11月13日の昨年最後の作業には10人が参加しました。

「1年を通して花の咲いている公園にしたい」と、4つの花壇毎に花の種類や配置を工夫し、寒い時期にも花が咲くパンジーやビオラの苗に加えて、春に花咲くチューリップやヒヤシンス、水仙等の球根も植えました。会員同士の

地域の公園を花で憩いの場に 運動公園東団地遊園地「いこいの会」



12月4日 三本柳中央公園の「しばふマルシェ」

昨年12月4日（日）、長野市三本柳中央公園で、「しばふマルシェ」が初めて開催されました。主催は、子どもを中心とした地域の居場所づくりに取り組み「さんぼんやなぎプロジェクト」です。

暖かさをテーマに、フリーマーケットやおやきの販売、にぎらないおにぎり「おにぎらず」や味噌汁のふるまい等、計7団体による出店がありました。

企画の中心となった岡宮真里さんは、赤十字奉仕団等での経験を通じて、地域の問題を「自分ごと」として感じるようになったそうです。マルシェの開催にあたっては、積極的な広報活動は特に行わなかったそうですが、日頃からの地域のつながりで、自然と多くの出店団体と参加者でにぎわいました。そのため、マルシェの運営に関しても「苦労したことは何もなかった。

今後「さんぼんやなぎプロジェクト」は、信州こども食堂「さんぼんやなぎ食堂」を三本柳地区センターで月1回開催します。中学生まで無料で、料理を一緒に作って食べたり、宿題を持ってきて一緒に勉強するなど、地域の年配者との交流が楽しい企画です。また、来てくれるだけでいい、お昼寝してもなんでもOKの「なぐんにもしない日」等も開催していく予定です。

住民の力で地域の絆づくりを さんぼんやなぎプロジェクト

本場に周りのみなさんに助けられて今日があるのです」とここまでを振り返ります。

また、「ここに居るだけで、それだけでいいんだよ」ということを子どもたちに伝えたい」と、地域の子どもたちへの思いが活動の根幹にあります。

今後「さんぼんやなぎプロジェクト」は、信州こども食堂「さんぼんやなぎ食堂」を三本柳地区センターで月1回開催します。中学生まで無料で、料理を一緒に作って食べたり、宿題を持ってきて一緒に勉強するなど、地域の年配者との交流が楽しい企画です。また、来てくれるだけでいい、お昼寝してもなんでもOKの「なぐんにもしない日」等も開催していく予定です。

さんぼんやなぎプロジェクト
080-3418-0088
メール：
sanbonproject@gmail.com

運動公園東団地遊園地「いこいの会」
090-3333-2489
メール：
mizukoshi1946@mx1.avis.ne.jp